

# 福島県復興公営住宅（広野町下北迫団地）の整備が進められています



現在、広野町下北迫上大吹地内で福島県復興公営住宅（広野町下北迫団地）の整備が進められています。これは、原子力災害により避難指示を受けている方を対象にしたもので、避難にともなう家賃負担の軽減を図るため、福島県が国の福島再生加速化交付金、長期避難者生活拠点形成事業を活用し、公営住宅法に基づいて整備するものです。住宅の入居に関して要件があるとともに、収入に応じた家賃などを負担する必要があります。富岡町、大熊町、双葉町、浪江町からの避難者を入居対象としています。

入居対象市町村	富岡町・大熊町・双葉町・浪江町
建設予定地	広野町下北迫字上大吹地内
構造・階数	木造2戸1棟
棟数・戸数	30戸
入居可能時期(予定)	平成29年度 後期
駐車場整備台数	敷地内に2台駐車可能
使用料	1,500円/台
備考	ペット可

# 広野町復興事業の状況

～ 広野町復興への歩み③ ～

広野町は、平成28年を「ふる里復興・再生」を“希望”から“成長”そして『躍動の年』と展望し、私たちの希望である「ふる里広野町」での震災前の生活を取り戻すため、「いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町」を掲げ、復興への取り組みを進めています。

今回は、福島県が広野町内で進めている復興公営住宅の整備と町の復興事業をご紹介します。

## 心の復興



11月5日、広野町公民館において、文豪森鷗外の小説で知られる「安寿と厨子王」伝説を描いた人形浄瑠璃「山椒太夫」を開催しました。これは広野町と福島民報社の共催によるもので、公演を通して東日本大震災と原発事故からの復興につなげるものです。

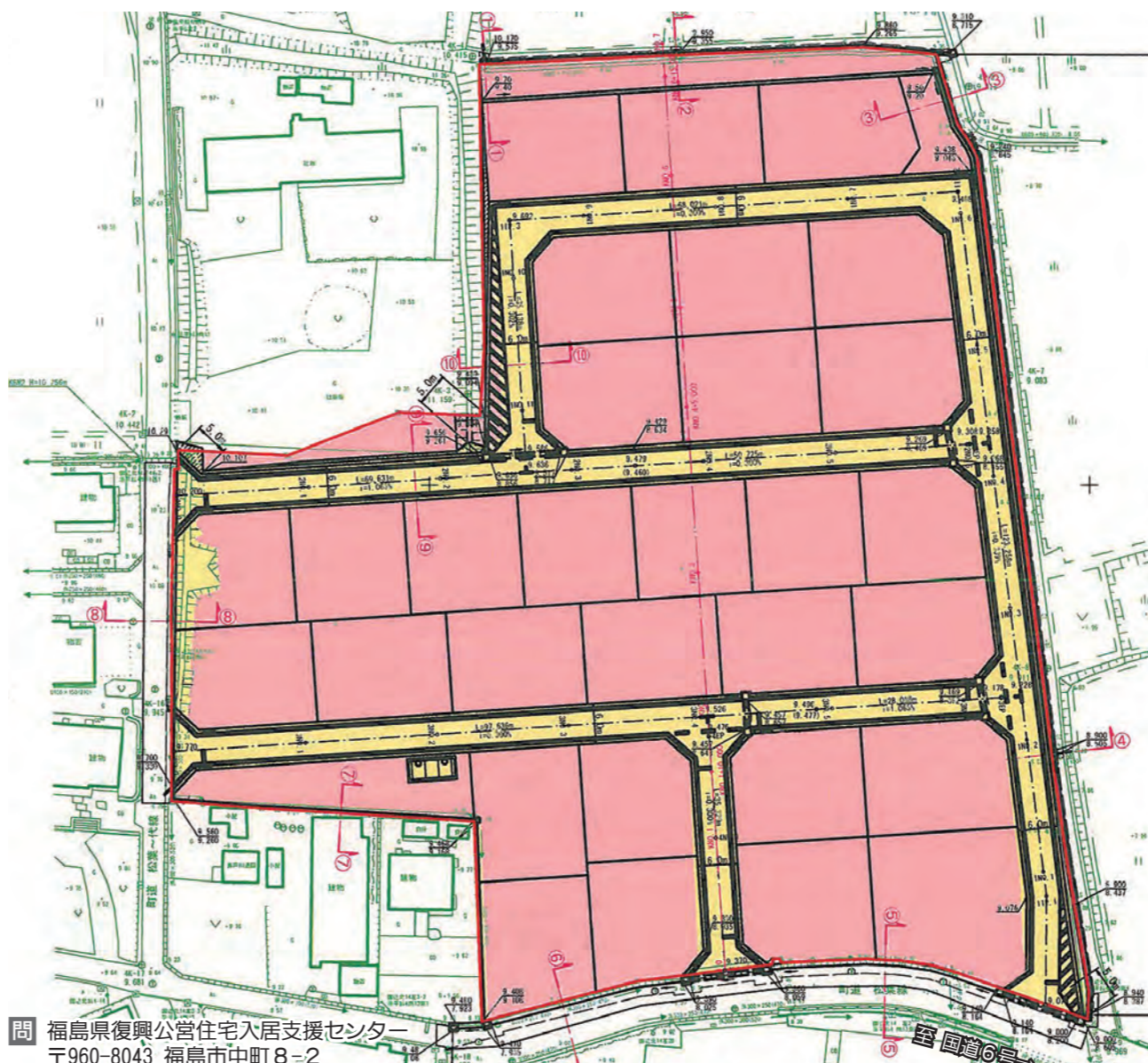
広野町には、安寿と厨子王の乳母・竹女が生まれたとの伝説があり、以前その伝説に因んだ催しを町の夏祭りに併せて開催していたこともありです。

今回の公演は、新潟県を中心に活動している猿八座によるもので、義太夫の語

### 人形浄瑠璃「山椒太夫」 広野公演を開催

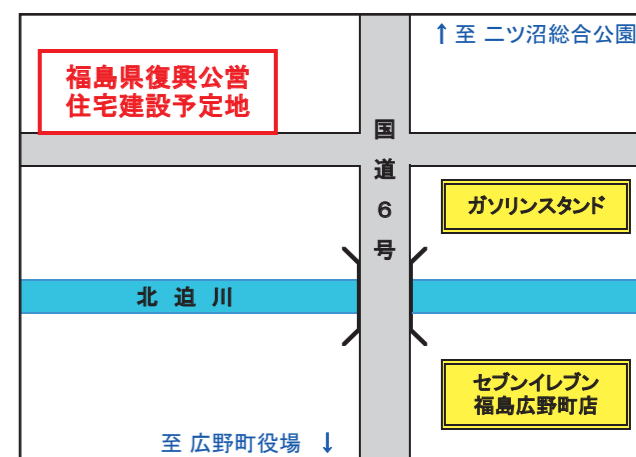
る浄瑠璃や三味線による節付けに合わせ、場面や登場人物が次々に変化し、物語のハイライトである厨子王が盲目の母に守り本尊の地藏菩薩を当て、たちまち開眼するシーンでは、会場から一斉に拍手と歓声が沸くなど、来場者は人形によって繰り広げられる物語の内容を堪能し、伝統芸能「文楽」の楽しさに触れていました。

また、開演前には、遠藤町長の挨拶に続き、猿八座の西橋八郎兵衛氏から人形浄瑠璃の紹介や操り人形の操作方法などについて詳しく説明がなされました。



問 福島県復興公営住宅入居支援センター  
〒960-8043 福島市中町8-2  
福島県自治会館7階  
専用ダイヤル ☎024-522-3320  
受付時間 午前8時30分～午後5時15分  
(土日、祝日を除く)

造成計画平面図（広野町下北迫地区）



	2階建て (2LDK)	2階建て (3LDK)
富岡町 枠 10	3	7
大熊町 枠 15	5	10
4町共通 枠 5	2	3
合計 30	10	20

### 【入居要件】

- ①原子力災害により避難指示を受けている居住制限者
- ②住宅に困窮している方(※)
- ③県税の滞納がない方
- ④過去に県営住宅に住んでいた場合、現在家賃の滞納がない方
- ⑤暴力団員でない方

※既に復興公営住宅（地震津波被災者向けを含む）に入居または入居決定している方、避難指示区域の外に自己所有の住居（戸建て住宅やマンションなど）を所有している方は応募できません。